

【地域とともに育つ力 交通安全教室と5年生調理実習】

朝からの大雨により、予定していた交通安全教室を体育館で実施しました。神奈川県警察 金沢警察署や金沢交通安全協会の皆様にご来校いただき、1年生を対象に交通事故に遭わないための安全な歩行の仕方について丁寧にご指導いただきました。

また、保護者ボランティアの皆様にもご協力いただき、実際に声をかけていただきながら、安全な歩き方にチャレンジしました。子どもたちは真剣な表情で取り組み、大切な命を守る学びを深めることができました。

一方、5年生は初めての調理実習に挑戦しました。ほうれん草などの青菜を茹で、おひたしづくりに取り組みました。ガスコンロや包丁を初めて扱う子も多く、最初は緊張した様子も見られましたが、授業サポートボランティアの皆様が見守ってくださる中で、安心して活動することができました。

出来上がったおひたしを「おいしい！」と笑顔で味わう姿からは、自分で作る喜びと達成感が伝わってきました。

この日の活動も、多くの地域・保護者の皆様のご協力により充実したものとなりました。心より感謝申し上げます。これからも、地域とともに子どもたちの学びを支えてまいります。



【学びと発見がいっぱい 1・2年生の学校生活】

連休の合間の登校日となりましたが、子どもたちは今日も元気いっぱいに学習に取り組んでいました。

1年1組では外国語活動を行い、友達同士で英語の挨拶に挑戦していました。少し照れながらも、「Hello!」と笑顔で声を掛け合う姿が見られ、楽しく外国語に親しんでいました。

1年2組は算数の学習です。教科書を開き、問題に向き合う姿からは、小学校での本格的な学習が始まってきたことが感じられました。一つ一つ丁寧に考えながら取り組む様子に、成長を感じます。

また、2年生はこれまで調べていた野菜の苗を買いに、永島農園へ出かけました。それぞれが「これを育てたい！」と選んだ苗を大切に持ち帰り、笑顔いっぱいの様子でした。これから水やりや観察をしながら、自分の野菜を育てていきます。

「どんなふうにつくかな」「早く野菜ができるといいな」と、期待に胸を膨らませる子どもたち。大きく成長した野菜を収穫する日が、今から楽しみです。



【表現する楽しさ、調べる楽しさ 4年生の学び】

4年1組の図工では、さまざまな技法を使った表現活動に取り組んでいました。スパッタリングや吹き流し、ドリッピング、スタンピングなど、それぞれの方法で色付けした画用紙を、思い思いの形に切り取り、一枚の作品として仕上げていました。

偶然できる模様や色の重なりを楽しみながら、「これは魚みたい」「宇宙みたいになった！」と発想を広げ、どの作品にも一人ひとりの個性がよく表れていました。友達の作品を見合いながら、互いのよさに気づく姿も見られました。

4年2組は国語の学習で、漢字辞典の使い方を学んでいました。最初は「どこを見ればいいのか」と戸惑う様子もありましたが、少しずつ使い方に慣れ、部首や画数を手がかりにしながら漢字を調べていました。自分で調べて学ぶ力を身に付ける、大切な時間となっています。

表現する楽しさ、そして自分で調べて分かる喜びを感じながら、4年生の学びは着実に広がっています。



【地域で守る安全と広がる学び PTA 活動と5年生の取組】

PTA 校外委員の皆様が、学区全域を歩いて安全点検を行ってくださいました。交通安全上危険と思われる箇所や、防犯面で注意が必要な場所などを実際に確認しながら、子どもたちが安心して登下校できる環境について丁寧に見て回ってくださいました。

今後は、スクールゾーン対策協議会として、金沢区役所や土木事務所、金沢警察署などにも働きかけを行い、必要な改善を要望していく予定です。

暑い中、子どもたちの安全のためにご尽力くださったPTA 校外委員の皆様、心より感謝申し上げます。



また、5年生は今月末に予定されている愛川宿泊体験学習に向けて準備を進めています。係ごとにタブレットを活用しながら、しおりづくりやキャンプファイヤーのゲームの計画などに取り組んでいました。

「早く行きたい！」「みんなで楽しみたい！」という思いが伝わってくるような、笑顔あふれる活動の様子が見られました。仲間と協力しながら準備を進める中で、宿泊体験学習への期待も高まっています。

【体を動かし、言葉や自然にふれる学び】

気持ちの良い晴天のもと、2年生と4年生による新体力テストを実施しました。体育館では反復横跳び、長座体前屈、上体起こしに取り組み、校庭ではソフトボール投げや立ち幅跳びを行いました。

4年生は、自分たちが記録に挑戦するだけでなく、2年生に優しく声をかけながらやり方を教える姿も見られました。上級生として下級生を気遣う頼もしい姿に、成長を感じました。

また、3年1組の国語では、国語辞典の使い方を学習していました。デジタルで簡単に検索できる時代ですが、実際にページをめくることで、改めて言葉の多さや豊かさに気づくことができます。調べている途中で、思いがけない言葉が目

入り、「これ何だろう?」と興味を広げる様子も見られました。

3年2組は理科の学習で、ひまわりやオクラ、ピーマンなどの種を比較していました。「形が違う!」「色は似ているね」など、違いや共通点に気づきながら観察を進め、自然への関心を深めていました。



【力いっぱい挑戦し、学びを広げる子どもたち】

5年生の体育ではシャトルランに挑戦しました。苦しくなってもあきらめず、粘り強く走り続ける姿が印象的で、自分の限界に挑戦しようとする気持ちが感じられました。

また、社会科では、地図帳を使って知床と小笠原の位置を調べる学習を行っていました。索引を使いながら場所を探し、「こんなに遠いんだ!」と、日本の南北の広がりを実感している様子が見られました。地図帳を活用しながら、自分で調べる力も身に付けています。

そして、新体カテスト 2 日目は、6年生と1年生が実施しました。ソフトボール投げや反復横跳びなどに挑戦する6年生の姿は迫力満点で、最高学年らしい力強さが感じられました。

また、6年生が1年生に優しく声をかけながら、やり方を教えたり移動をサポートしたりする姿も多く見られ、とても頼もしく感じました。1年生も安心した表情で活動に参加していました。

体を動かすこと、調べること、仲間と関わることを通して、子どもたちはさまざまな力を育んでいます。



【世界とつながれ!】

今年度初めての国際理解教室も行われました。今回はネパール出身の先生をお迎えし、楽しいトークを交えながら、ネパールの場所や国旗、そして世界最高峰のエベレストについて教えていただきました。子どもたちは興味津々で話を聞き、世界への関心を広げていました。「次の授業も楽しみ!」という声も聞かれ、充実した時間となりました。

2年生の外国語活動では、「色」と「動物」をテーマに学習しました。ビッグブックやカードを使いながら英語に親しみ、後半にはグループごとに英語カルタを楽しみました。笑顔いっぱい活動する姿から、外国語への親しみが感じられました。

3年生と5年生の新体力テストを実施しました。ソフトボール投げでは、野球が得意な職員が手本を見せる場面もあり、その迫力ある投球と飛距離に子どもたちから驚きの声が上がっていました。

天候にも恵まれ、この3日間で全学年の新体力テストを無事に実施することができました。子どもたちは、それぞれ自分の力を精いっぱい発揮しようと頑張っていました。

体を動かし、世界に目を向け、言葉に親しむ。子どもたちはさまざまな学びを通して、日々成長しています。



【ボランティアの皆さんに見守られながら 5年生の調理実習】

5年生の家庭科では、野菜スープづくりの調理実習を行いました。今回も、多くのボランティアの皆様にご参加いただき、各班に一人以上の大人がついて、安全に調理ができるよう温かく見守ってくださいました。

子どもたちは、包丁を使って野菜を切ったり、火加減を見ながら煮込んだりと、協力しながら活動していました。特に玉ねぎを切る場面では、「涙が出るー！」と苦労しながらも、笑顔で取り組む姿が見られました。

完成した野菜スープは、どの班もとても美味しそうにできあがり、「おいしい！」「家でも作ってみたい！」という声も聞かれました。仲間と協力して作った料理を囲み、満足そうに味わう様子が印象的でした。

今回の学習は、今月末に予定されている愛川宿泊体験学習でのカレー作りにもつながっていきます。実際に体験しながら、協力することや安全に調理することの大切さを学んでいます。ご協力くださったボランティアの皆様、本当にありがとうございました。地域や保護者の皆様を支えられながら、子どもたちは豊かな学びを積み重ねています。



【想像力が動き出す】

5年生の図工では、写真を使ったアニメーションづくりに挑戦していました。物を少し動かして写真を撮り、また少し動かして撮影する——その作業を繰り返し、撮った写真をスライドショーのように連続して映すことで、まるで絵や物が動き出したような作品になります。

昔、ノートや教科書の端に絵を描いてページをめくる「パラパラ漫画」がありましたが、今回はそのデジタル版ともいえる学習です。

子どもたちは想像力を働かせながら夢中になって取り組み、それぞれの机の上には小さなスタジオができているようでした。自分だけの世界を作り上げ、その作品の中に入り込むように活動する姿がとても印象的でした。

どのような作品が完成するのか、今からとても楽しみです。出来上がった作品を、ぜひ見てみたいと思います。

また、放課後には教職員でプールのヤゴ採りを行いました。今年もたくさんのヤゴを見つけることができました。今年も2年生が育て、トンボになるまで観察していくのでしょうか。小さな命との出会いも、子どもたちにとって大切な学びにつながっていきます。



【1年生は本の世界にふれ、2～6年生はタブレットで学状】

1年生は、読み聞かせボランティアの皆様による今年度初めての読み聞かせが行われました。ボランティアの皆様が選んでくださった“とっておき”の絵本に、子どもたちは笑ったり驚いたり、思わず声を出したりしながら夢中になって聞き入っていました。

物語の世界に引き込まれ、豊かな表情で楽しむ姿から、本との素敵な出会いの時間になったことが伝わってきました。また、この日は読み聞かせボランティアの活動に興味をもたれた方も見学に来てくださいました。日頃から、本校の読書活動を大きく支えてくださっているボランティアの皆様に、心より感謝申し上げます。

一方、2～6年生では学力・学習状況調査を実施しました。今年度からタブレットを使った調査となり、子どもたちだけでなく教職員も少し緊張した様子でスタートしました。

子どもたちは、タブレットに映し出される問題をよく読み、一問一問集中して回答していました。紙の問題用紙に鉛筆で記入していた頃を思い出し、懐かしさを感じる一方で、学習の形も時代とともに変化していることを改めて実感する機会となりました。明日は二日目の調査です。



【小さな命との出会い 2年生のヤゴの飼育】

プールで採れたたくさんのヤゴが、大きなたらい4つ分になりました。2年生の子どもたちは、その中から「このヤゴを育てたい！」と、それぞれ思い思いに自分のヤゴを選び、プラコップに入れて教室へ持ち帰りました。

教室では、さっそく名前をつける姿も見られ、「元気に育ててね」と優しく声をかけながら、割り箸を入れてトンボが羽化しやすい環境を整えたり、餌のアカムシを与えたりしていました。

子どもたちは、小さな命を大切に世話しながら、「いつトンボになるかな」「何色のトンボかな」と、成虫になる日を今から楽しみにしている様子です。

実際に育てながら観察することで、命の不思議さや自然への興味・関心が広がっていくことを願っています。これからのヤゴたちの成長がとても楽しみです。



【ありがとう、グリ 🐰 みんなに愛された命】

5月19日、本校で長年飼育していたウサギ 🐰 の「グリ」が亡くなりました。

呼吸が荒くなり、体を震わせている様子が見られたため、放課後に動物病院へ連れて行くことになりました。病院に到着し、診察を待っている時、「キー」と小さく鳴き、そのまま静かに息を引き取りました。

グリは10年以上にわたり、釜利谷小学校の子どもたちに、動物のぬくもりや命の大切さ、そしてたくさんの優しい気持ちを届けてくれました。休み時間に会いに行ったり、声をかけたり、お世話をしたりと、多くの子どもたちの思い出の中に、グリは生きています。

「ありがとう、グリ。」

長い間、本当にありがとう。

今ごろは虹の橋を 🌈 渡り、空の上から釜利谷小学校のみんなのことを優しく見守ってくれていることでしょう。

これからも、グリと過ごした日々を大切にしながら、命を大切にすることを子どもたちと育んでいきたいと思います。

いつまでも忘れないよ、グリ。 🌸 🌺 🌻



【つながる楽しさ、本の楽しさ 全校集会とペア読書】

今年度初めてとなる、集会委員会による全校集会が行われました。今回は学校クイズが出題され、体育館は大盛り上がり。子どもたちは友達と相談しながら楽しそうに答えを考え、笑顔あふれる時間となりました。

5年生の集会委員にとっては初めての全校集会でしたが、6年生の委員に教えてもらいながら、一生懸命に進行する姿が見られました。上級生から下級生へとつながっていく頼もしさも感じられました。

また、現在はペア読書期間となっており、5年生が3年生へ絵本の読み聞かせを行っています。ペアで一冊の本を挟み、一緒に本の世界に浸っている姿はとても微笑ましく、温かな時間が流れていました。



紙の本だけでなく、タブレットを使った電子書籍を読んでいる子どもたちの姿も

見られ、読書の形にも時代の変化を感じます。それでも、「物語を楽しむ」「言葉にふれる」「想像を広げる」という読書の良さは変わりません。

これからも、子どもたちが本に親しみ、読書の楽しさを感じられるような活動を大切にしていきたいと思います。

【5年生 愛川宿泊体験学習】

よく晴れた青空のもと、5年生の愛川宿泊体験学習がスタートしました。出発式では、これから始まる宿泊体験への期待に胸を膨らませた子どもたちの表情がとても印象的でした。また、多くの保護者の皆様が見送りに来てくださり、温かな雰囲気の中で出発することができました。

バスの中では、係の子どもたちが準備したクイズやゲームなどのバスレクで大盛り上がり。友達と笑い合いながら過ごす時間に、宿泊体験への期待もさらに高まっている様子でした。

愛川に到着後は、レインボープラザで愛染体験を行いました。子どもたちは、それぞれ思い思いのデザインを考えながら布を染めていきました。完成した作品を広げると、「すごい！」「思ったよりきれい！」と、想像以上の仕上がりに笑顔いっぱい。世界に一つだけの素敵な作品ができあがりました。

この後の活動も、安全に気をつけながら、充実した時間にしていきたいと思っています。



【自然の中で広がる笑顔 5年生 愛川宿泊体験学習】

5年生の愛川宿泊体験学習は、青空の広がる良い天気の中で進んでいます。

昼食は、中津川の河原でお弁当を食べました。川の流れを感じながら、仲間と一緒に食べるお弁当は特別なおいしさだったようです。天気が良すぎるほどで、暑さを感じるくらいの陽気の中、子どもたちは元気いっぱいに過ごしていました。その後、愛川ふれあいの村に到着し、入村式を行いました。施設のスタッフの方から、宿泊生活の決まりや安全に過ごすための大切な話を聞き、子どもたちも真剣な表情で耳を傾けていました。



宿泊棟に到着すると、少しほっとした様子で一休み。友達と荷物を整理したり、部屋で楽しそうに話したりする姿も見られました。

午後はいよいよ野外炊事でのカレー作りに挑戦します。班で協力しながら、火を起こしたり、野菜を切ったりして、おいしいカレーを作っていきます。

果たして、どんなカレーが完成するのでしょうか。仲間と協力して作る時間も、きっと大切な思い出になっていくことでしょう。

【協力して挑戦！ 野外炊事でカレー作り】

5年生の愛川宿泊体験学習では、いよいよ野外炊事でのカレー作りに挑戦しました。

最初は火をつけることに悪戦苦闘する班もありましたが、友達と声を掛け合いながら工夫し、どの班も時間に余裕をもって火を起こすことができました。

慣れない包丁で野菜を切ったり、火加減を調整したりと、普段とは違う環境の中での調理に苦戦する場面もありましたが、班で協力しながらさまざまなトラブルを乗り越え、無事にカレー作りを終えることができました。

仲間と力を合わせて作ったカレーは、きっと特別なおいしさだったことと思います。夕食後は少し休憩をとり、これからキャンプファイヤーに臨みます。仲間とともに過ごす夜の時間も、忘れられない思い出になっていくことでしょう。



【笑顔と絆が輝いた夜 キャンプファイヤー🔥】

5年生の愛川宿泊体験学習、今日最後のイベントはキャンプファイヤーでした。

火を囲んで始まったキャンプファイヤーは、実行委員による楽しく面白い劇からスタート。会場は一気に盛り上がり、子どもたちの笑顔と歓声が広がりました。

その後は、ゲームやダンスをみんなで楽しみ、大盛り上がり。友達と声を掛け合いながら体を動かし、自然と笑顔があふれる時間となりました。

最後には、「仲間」の歌を全員で歌いました。火の灯りの中で肩を並べながら歌う姿からは、この宿泊体験を通して深まった絆や仲間への思いが感じられました。

この後は、お風呂に入り、今日の思い出を振り返りながらゆっくり体を休め、明日の活動に備えます。宿泊体験学習もまだ続きます。明日も、仲間とともに素敵な時間を積み重ねていってほしいと思います。



【愛川宿泊体験学習 二日目スタート】

5年生の愛川宿泊体験学習は、いよいよ二日目を迎えました。

本日も気持ちの良い快晴となり、子どもたちは朝から元気いっぱい。体調不良を訴える子もなく、みんなはつらつと活動しています。

朝は、宿泊した部屋の片付けや掃除に取り組みました。友達と協力しながら、来た時よりもきれいにしようと頑張る姿が見られ、宿泊学習ならではの大切な学びにつながっています。



朝食はビュッフェ方式でした。「どれにしようかな」と迷いながらも、自分で食べる量を考えて選び、しっかりと朝食をとっていました。友達と楽しそうに会話をしながら食べる姿からも、二日目への期待が感じられました。

愛川宿泊体験学習も後半に入ります。今日も仲間と協力しながら、楽しく充実した一日を過ごしてほしいと思います。

【大自然の中で広がる学び 愛川宿泊体験学習 二日目】

愛川宿泊体験学習二日目も、子どもたちは元気いっぱいに活動しました。

宮ヶ瀬ダムでは、まずその大きさと迫りにびっくり。実際に目の前に立つことで、写真や映像では感じられないスケールの大きさを体感していました。また、水とエネルギー館の方から、ダムの歴史や役割について分かりやすく説明していただき、私たちの暮らしを支える大切な施設であることを学びました。

続いて訪れた服部牧場では、羊や牛への餌やり、乳搾り体験に挑戦しました。最初は「大きい！」「ちょっと怖い！」と緊張していた子どもたちも、恐る恐る関わっていくうちに、「意外とおとなしいね」「かわいい！」と、動物との触れ合いを楽しむ様子が見られました。



こうした体験は、普段の街中の生活ではなかなか味わうことのできない貴重な経験です。自然や動物に直接触れながら、多くのことを感じ、学ぶことができました。

仲間と協力しながら活動し、笑顔いっぱいでも過ごした二日目。宿泊体験学習を通して、子どもたちはまた一つ大きく成長しているように感じます。

【地域に支えられる学校 ボランティア交流会と笑顔の給食 🍳】

本日、令和8年度のボランティア交流会を行いました。花ボランティア、郷土資料館ボランティア、授業サポート、かまてら、小さな音楽会、ほほえみ学援隊の皆様が集まり、それぞれの活動の報告や、今後さらに活動を盛り上げていくためのアイデアについて話し合いました。

花ボランティアのご家族が描きましたポスターも紹介されました。今後、町の掲示板に貼る予定です。

日頃から、子どもたちの豊かな教育活動や安全な学校生活を支えてくださっている皆様に、改めて心より感謝申し上げます。

また、今回の交流会には、「新しく活動を体験してみたい」という方も4名参加してくださいました。地域の輪がさらに広がっていくことを、とても嬉しく感じています。

どうぞよろしくお願いいたします。本日参加されていない方も、ボランティアに関心がありましたら、学校までお知らせください。



そして今日は、子どもたちが楽しみにしている“年に2回の揚げパンの日”でもありました。さらにデザートにはメロンも登場し、朝から「今日は揚げパンだ！」と、わくわくしている声がたくさん聞こえてきました。

教室を回ると、1年生から6年生まで、どの子も笑顔いっぱい、おいしそうに給食を味わっていました。友達と楽しそうに食べる姿からも、学校生活の温かな一場面が感じられました。



地域の皆様に支えられながら、子どもたちは毎日さまざまな経験を重ねています。これからも、学校・家庭・地域がつながりながら、子どもたちの成長を支えてまいります。

【工夫いっぱいの図工と横浜の歴史にふれる時間】

4年生の図工では、ビー玉を転がして遊ぶコースづくりに取り組んでいました。子どもたちは思い思いにアイデアを広げ、くるくる回るコースや、高いところから勢いよく転がるコースなど、工夫いっぱいの作品を作っていました。

「ここを速く転がるようにしたい！」「もっと長いコースにしよう！」と試行錯誤しながら取り組む姿が見られ、それぞれの個性が光る楽しい活動となっていました。完成したコースで実際にビー玉を転がし、友達と一緒に楽しむ笑顔も印象的でした。



また、朝は開港記念集会を放送で行いました。開港前と開港後の横浜の様子を、絵や写真を使って比べながら紹介し、「横浜がどのように発展してきたのか」について学びました。

さらに、「横浜はじめてクイズ」も行われ、教室では「知ってる！」「へー！」と大盛り上がり。子どもたちは楽しみながら、横浜の歴史や魅力について理解を深めていました。

楽しみながら工夫すること、そして地域の歴史に親しむことを通して、子どもたちの学びは広がっています。

【音色を磨き ♪ GREEN×EXPO の花 🌸 を育てる 4年生と1年生の学び】

4年生の音楽では、リコーダーの練習に取り組んでいました。子どもたちは背筋を伸ばし、よい姿勢で真剣な表情を浮かべながら演奏していました。

3年生の頃と比べると、指使いや息づかいが格段に上達しており、一年間の成長を感じました。友達と音を合わせながら、より美しい演奏を目指して練習する姿が印象的でした。



また、1年生の生活科では、花壇の土作りに向けた準備として草取りを行いました。「こんなに取れたよ！」「まだここにもある！」と声を掛け合いながら、みんなで協力してたくさんの草を取り除いていました。

これから腐葉土などを混ぜながら、植物が元気に育つ肥沃な土を作っていく予定です。そして、その土の一部は、来年度開催される GREEN×EXPO 2027 の会場へ送られ、博覧会で育てられる植物の栽培に活用される予定です。

自分たちが作った土が GREEN×EXPO の花を支えることにつながると知り、子どもたちも期待を膨らませていました。

